

URL:<http://www.wowkorea.jp/news/Korea/2007/0730/10030088.html>

一般の教師8人が校長先生に…55校公募の結果

29年間一般教師として教壇に立っていた京畿道楊州(キョンギド・ヤンジュシ)市フェチョン小学校チェ・チャンへ教師(50)は、希望でいっぱいである。9月から楊州市ユヤン小学校校長に赴任し、学校を運営することができるようになったからだ。

チェ教師は4月、教育部が初めて施行した校長公募制に応募、4対1の競争をくぐって最年少校長に選ばれた。

校長公募制は教育部が教壇に新たな風を吹き入れるという趣旨で校長の資格がなくても教職経歴15年以上の教員に門戸を開放した制度だ。チェ教師は「普段から児童たちの創意性を生かすためには現場教育を多くしなければならないという所信があった」とし「四半期別に博物館探訪や歴史紀行プログラムを施行する」と話した。

忠南天安(チュンナム・チョンアン)市ポクチャ女子高イ・ジョンロ教師(54、英語担当)も来月、洪城(ホンソン)郡ホンドン中学校校長になる。31年間教鞭を取った彼は「教師に自律性を最大限与え、生徒たちの実力を伸ばしたい」と強い意志を示した。全校生が150人の田舎の学校という条件を考慮し、それに合ったスタイルの教育をし、教師らに刺激を与えて学校を変えてみたいというのだ。ホンドン中校長公募には現職校長4人と一般教師5人の9人が志願し、最も熾烈な競争率となった。イ教師は「教師らの自律と責務性を強調したのが高い点数となったようだ」と話した。

2人の教師のような一般教師出身の校長が初めて8人誕生した。教育部が29日、全国55の校長公募制学校(公立)を対象に校長採用者を発表した。55人のうち現職校長は16人、教頭は26人だった。特に慶北聞慶(キョンウク・ムンギョン)観光高校など13か所では同じ学校出身の校長、教頭が再び校長候補者に選ばれ、他校からの就任はなくなった。期待を集めた一般教師からは8人選ばれるのにとどまった。

教育部のキム・グァンホ教員政策課長は「学校運営経験がある校長、教頭出身たちが高い点数を獲得して一般教師たちの採用が相対的に少なかった」と説明した。校長候補者たちは30日から来月10日まで職務研修を受けた後、9月1日付で正式採用される。教育部は来年には校長公募制学校を54校増やす方針だ。

Copyright 2007(C)JOONGANGILBO NEWS. All rights reserved.

2007/7/30 10:56 入力